

第 1 回 中心市街地復興まちづくり推進委員会

中心市街地地区の将来像の 具体化等について

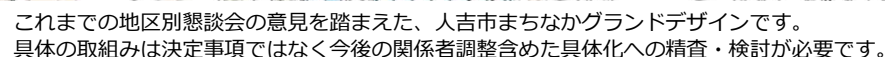
令和 4 年 8 月 3 1 日（水） 1 8 時～
人 吉 市

- 1 事業方針（案）について
- 2 中心市街地地区の将来像の具体化について
- 3 その他

1

※A3拡大版あり

	風致地区		登録文化財
	公園・緑地		歴史の建物等
	史跡・旧城跡		仮設店舗等
			温泉・公衆浴場



1 - 2 中心市街地地区の復興まちづくり計画

2

中心市街地地区全体の将来像

※A3拡大版あり

清流球磨川と人吉らしい歴史・文化とともに、若い力と賑わいに満ち
お年寄りから子どもまで安心して暮らせるまちなか

これまでの地区別懇談会で中心市街地地区の復興まちづくりに対するご意見をまとめたものです。
具体的取組みは決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

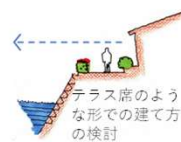
復興未来の杜エリア

- 青井の杜（古代中世/青井阿蘇神社周辺）
 - 城址の杜（中世近世/城址公園周辺）
 - 復興未来の杜（現在から未来/紺屋町、九日町等周辺）
- 3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を
促し環境共生型都市として未来型復興を図る

賑わい・観光・交流拠点の形成



川沿いの回遊を促す
足湯のイメージ



テラス席のような
形で建て方の
検討



復興型商店街の再生の
イメージ



ひかりの復興計画による
夜間景観のイメージ



歴史的建物の在り方の
検討



1階にUターン、被災商店
主向け店舗、2・3階に住居
やシェアハウスのイメージ

まちの玄関口としての景観形成



道路、建物が一体となった
沿道景観形成のイメージ

歴史的な町並みの形成



歴史的建物を活かした
町並み形成



鍛冶屋町の町並み形成



ひかりの復興計画による
夜間景観イメージ

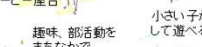
生業・生活支援拠点の形成



コンテナマルシェ



青空図書館



小さい子が安心して
遊べる環境



趣味、部活動を
まちなかで



子育て世代支援+生活広場



石蔵の活用イメージ

雨水浸透緑地帯の導入

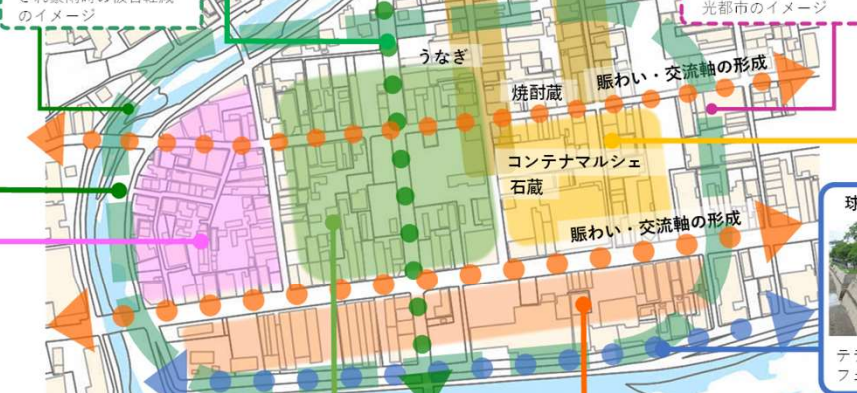


雨水が時間をかけ排水
され豪雨時の被害軽減
のイメージ

桜の植樹を検討



1000本の桜を植樹し自然
と調和・共生した観光
都市のイメージ



球磨川プロムナード軸の形成



テラス型のオープンカ
フェを検討



石垣等自然素材の検討

交流・文化・まちなか居住拠点の形成



地場産材を使用した災害公営住宅
のイメージ



敷地内を通り抜けること
ができる分棟型文化交流
施設のイメージ



中心市街地の新たな拠点となる
緑豊かな図書館等のイメージ



まちなかのポケット
パークのイメージ

癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成



球磨川沿いの老舗ホテル・旅館を中心とした
滞在型の癒やし・寛ぎ拠点を形成



温泉巡り、魅力的な商店などの観光上り散策

課題	中心市街地地区 の課題	【防災】 ● 避難路・避難地の確保 ● 未接道敷地の解消 ● 住宅地の安全性向上	【賑わい】 ● 中心市街地の 活性化、産業 の活性化
	水害対策上 の課題	● 流域治水プロジェクトの取組みと早期再建・復興との整合性 ● 災害に強いまちづくりの推進	

整備方針(整備すべき主な機能)

災害に強いまちづくりに向けて

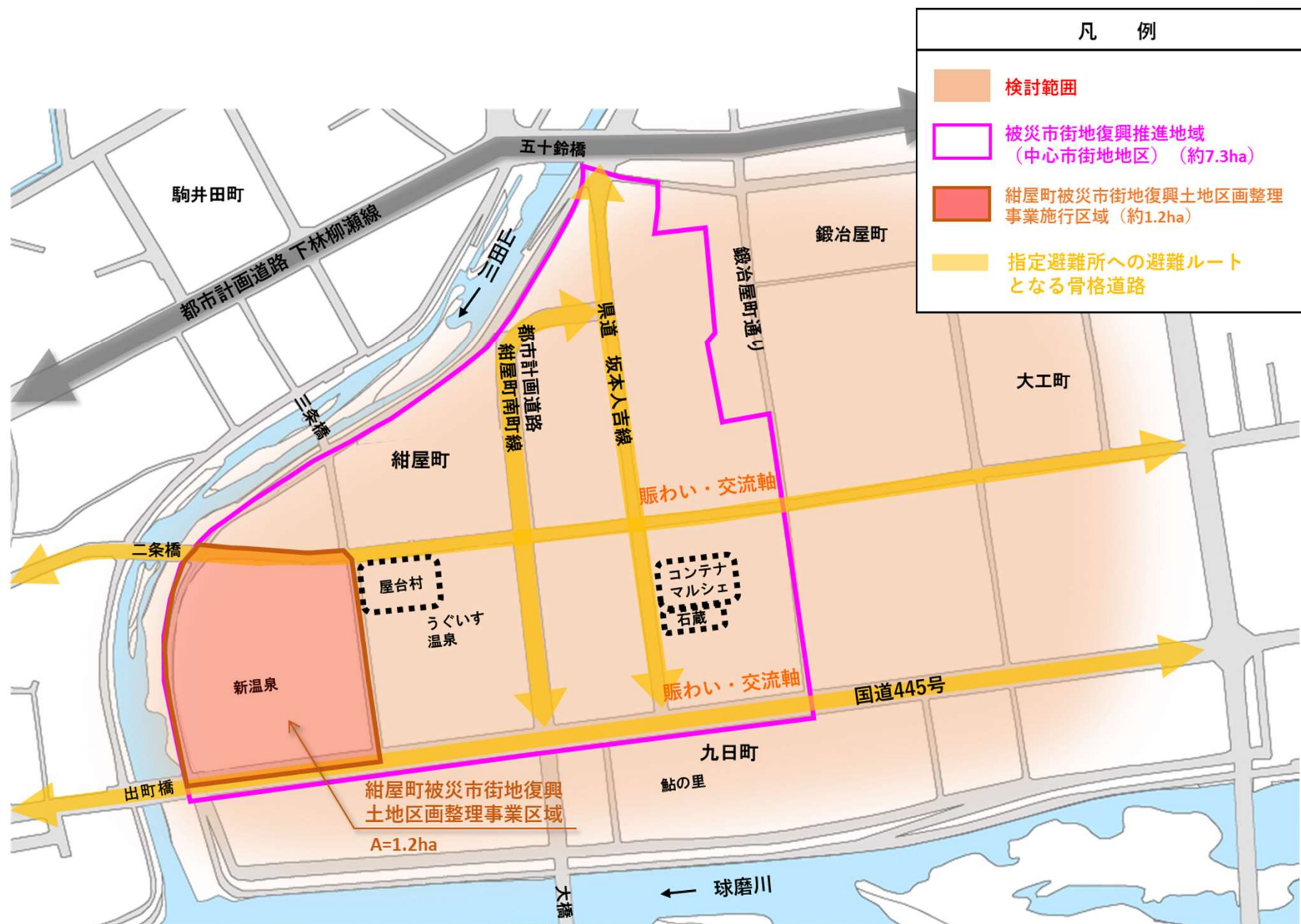
- 指定避難所へのスムーズな避難を実現する骨格道路を含む避難ルート整備
- 災害時の一時避難場所となる公園などの避難地の確保
- 垂直避難できる建築物の立地誘導・指定拡大
- 河川堤防の強化、円滑な水防活動への支援

復興まちづくりへの効果拡大

- 沿道建築物と連携した良好な道路空間の整備等による地区内のにぎわい創出と、他地区とをつなぐ高い回遊性の確保
- 公園・広場の整備による良好な住環境の確保と既存施設（コンテナマルシェ等）とのイベント実施等によるにぎわい創設
- 山田川との連携強化による親水性の向上、良好な河川空間の確保を図る

中心市街地地区の復興まちづくりの基本的な考え方(コンセプト)

- ① 避難路・避難地等の整備による災害に強いまちの実現
- ② 地権者等の意向を踏まえた生活再建と復興の実現
- ③ 良好な住環境やにぎわい創出等将来ビジョンの実現



2 中心市街地地区の将来像の具体化について

5

2-1 道路・公園等の公共施設配置（案）等について

避難路・避難地の確保
住宅地の安全性の向上
(堤防の強化・低地の地盤高調整)

狭い道路・行き止まり道路による
避難路機能不足による防災機能不足



豪雨に対応できなかった堤防
低地盤地域における長時間の冠水

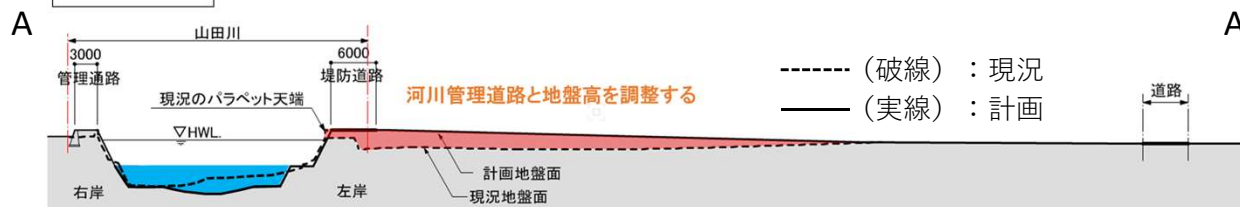


凡 例		
避 難 路	↔	土地区画整理事業
	↔	直接用地買収
交 流 ・ 文 化 の 場	⋯	直接用地買収
都 市 計 画 道 路 紺屋町南町線	⋯	街路事業
	⋯	直接用地買収

【配置等の検討が必要な公共施設】

- ↔ 避難路
(幅員 6 m 予定)
- ⋯ 都市計画道路
(幅員 16 m)
- ⋯ 交流・文化の場
(複合施設・公園など)
- 避難ルート
- 低地盤地域における
長時間の冠水範囲

整備イメージ (A-A' 断面)

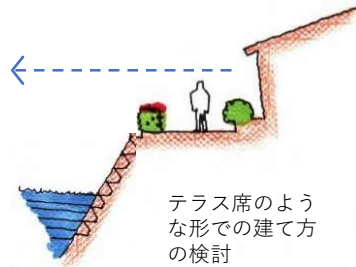


公共施設等の配置は現時点の案であり、中心市街地復興まちづくり推進協議会のご意見等を踏まえ変更する可能性があります。

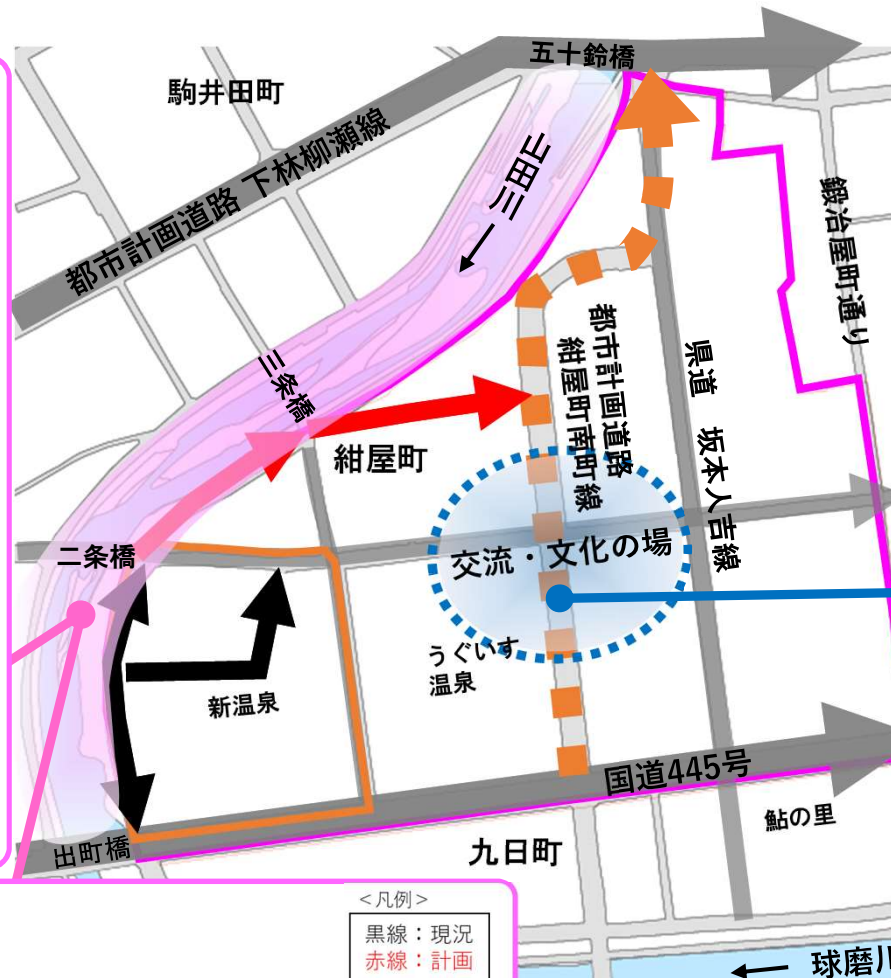
2-2 賑わい創出（案）等について

6

賑わい・観光・交流拠点の形成



ひかりの復興計画による夜間景観のイメージ



中心市街地の活性化 (魅力・求心力の向上)

空地や低未利用地が散在

人吉市検証実験の例



公園やオープンスペースの整備による
一時避難地の確保、にぎわい創出



兵庫県神戸市の例

山田川堤防強化の方針

川へのアクセスを確保する
まちづくりと一体となった整備

継続的に土砂撤去を行うための通路を整備
(平常時は散策も可能)

堤防の幅を確保し、構造を強化
避難路、水防活動の場として活用

街並み・景観に配慮した石積み

土砂堆積を軽減させるための横断形状の工夫

※今後、調査・設計等により詳細が変更となる可能性があります。

<凡例>

黒線：現況
赤線：計画

交流・文化・まちなか居住拠点の形成



中心市街地の新たな拠点となる
緑豊かな図書館等のイメージ



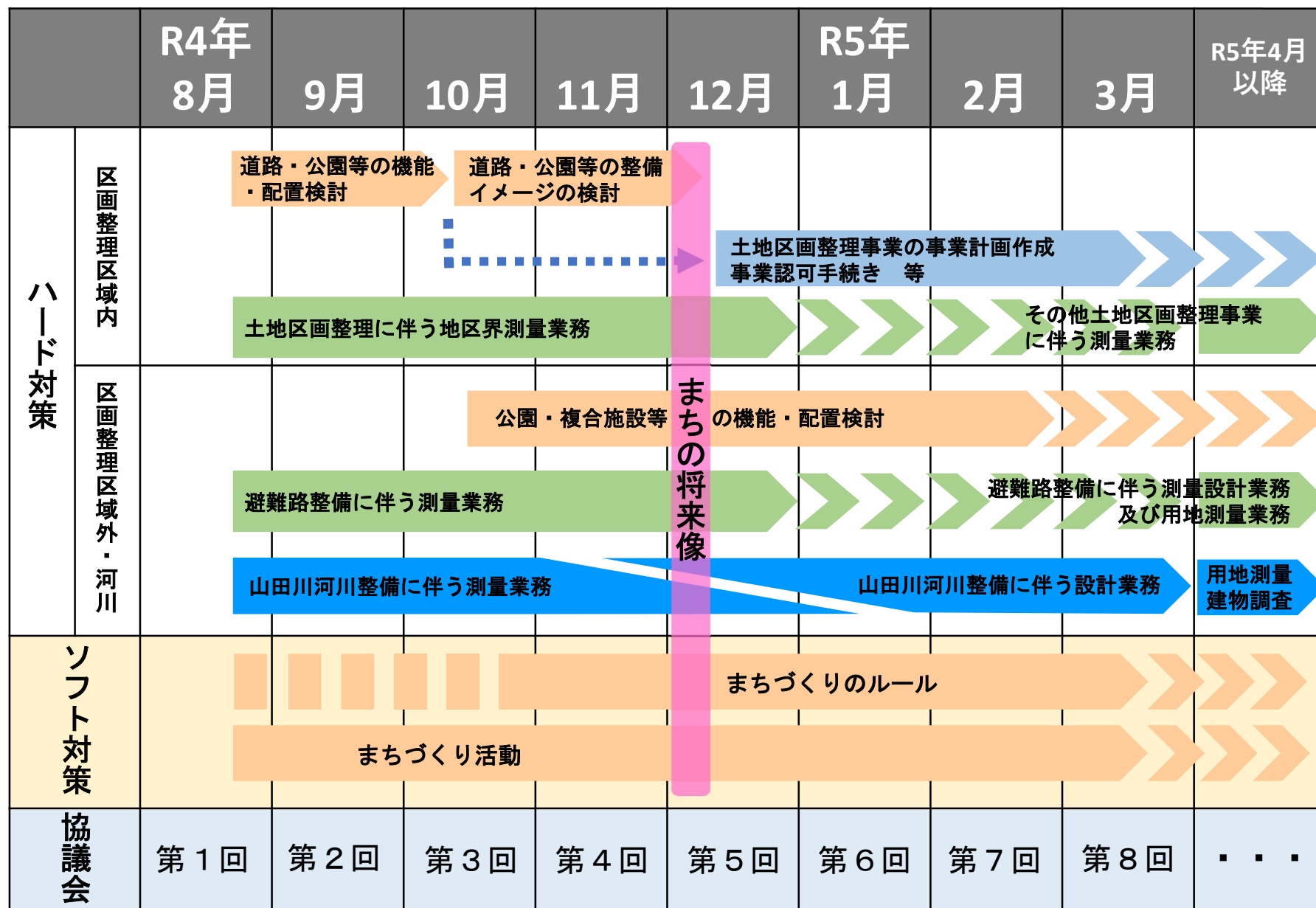
まちなかのポケット
パークのイメージ

地区計画は、住民の皆さんが主体となって地区レベルで定めることができるまちづくりのルールのひとつです。



2-4 会の進め方（案）

8



※現時点での予定であり、検討状況などにより回数の増加も想定されます。

回	活 動 内 容（案）
第 1 回 (8月)	中心市街地地区全体の将来像、整備方針に基づいた道路・公園等の公共施設配置案、賑わい創出の説明、河川整備と一体となったまちづくりについて
第 2 回 (9月)	道路・公園・河川等（泉田川）の公共施設配置案の検討、（土地区画整理事業区域内の事業計画素案の作成）、中心市街地地区の歴史について（まちなみや賑わい）
第 3 回 (10月)	第 2 回委員会で検討した公共施設配置案の提示（泉田川・堤防道路の配置）、複合施設等の検討
第 4 回 (11月)	（区域外含む）公共施設案の検討、賑わい創出に向けた検討（導入施設など）、地区計画等（素案：まちづくりのルール等）の検討、将来像のラフスケッチ （土地区画整理事業区域内の事業計画原案の作成）
第 5 回 (12月)	第 4 回委員会で検討した公共施設配置案、地区計画等（原案）の提示、導入施設等の検討

※現時点での予定であり、検討状況などにより回数の増加も想定されます。

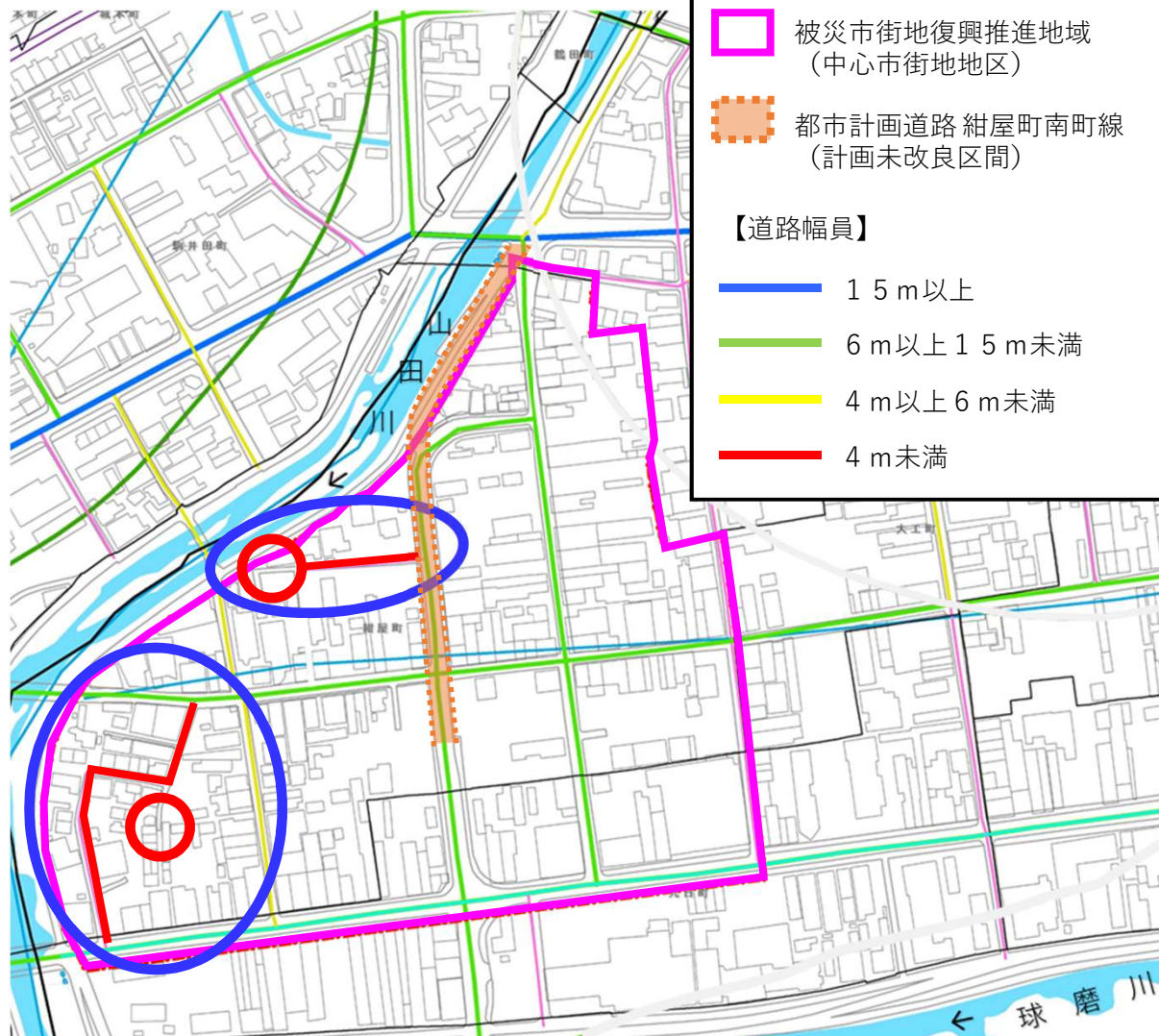
2-6 道路の配置について

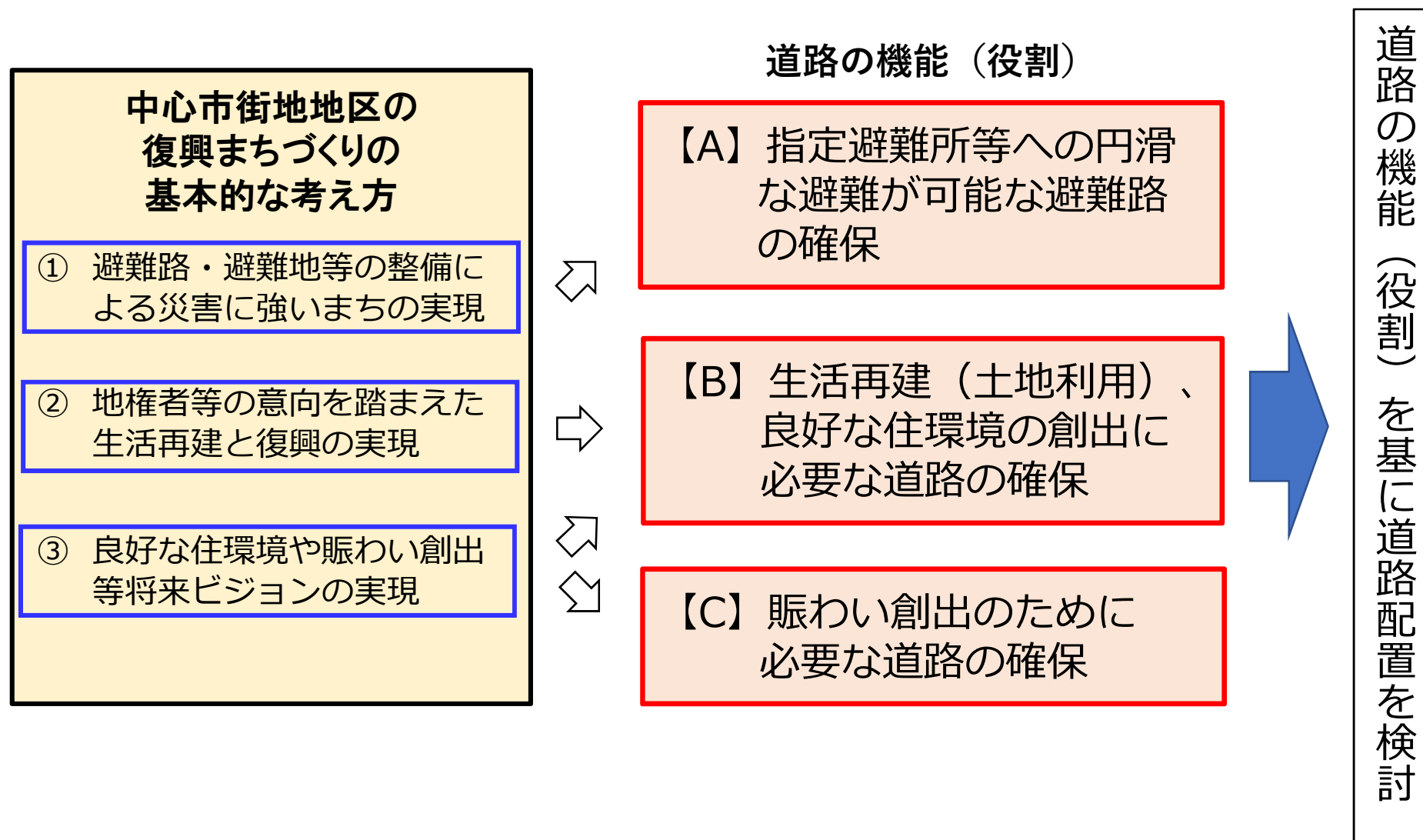
10

2-6-1 現況道路について

- ・都市計画道路「紺屋町南町線」は、現在、道路線形を検討中である。
- ・その他の地区内道路は、幅員4m未満道路や行き止まり道路がある。

■現況道路幅員図（参考）



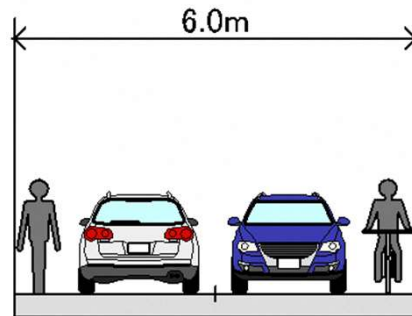


【指定避難所への円滑な避難】

指定避難所への避難ルートとなる骨格道路を軸に
骨格道路までの避難ルートとなる区画道路を配置。



■区画道路



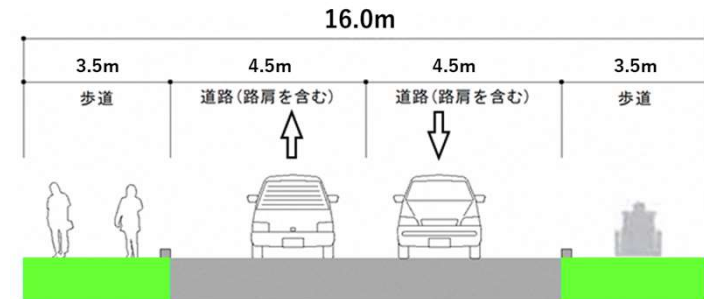
車線

幅員構成については、現在検討中



幅員 6 m道路 幅員のイメージ
(市道 九日町鍛冶屋町線)
※丸恵本館前付近

■都市計画道路 紺屋町南町線



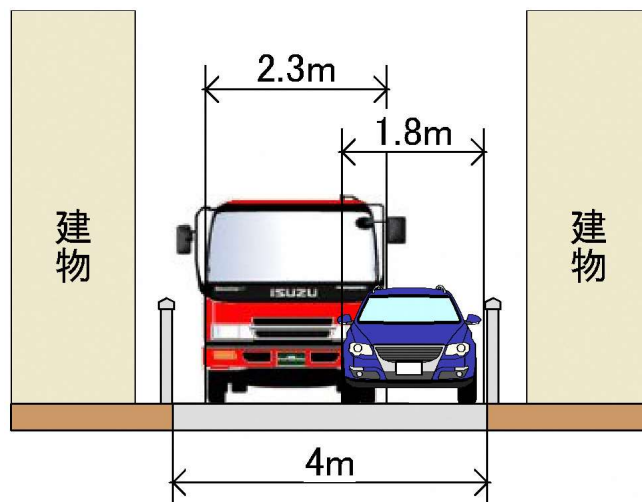
※道路幅16mは都市計画決定済



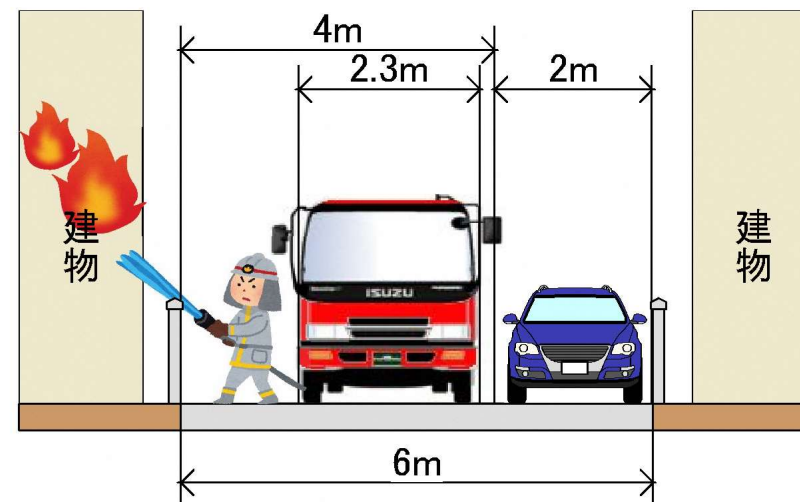
幅員 16 m道路 幅員のイメージ
(都市計画道路 紺屋町南町線)
※改良済み区間 (大橋南側)

消防活動

■幅員 4 m の場合

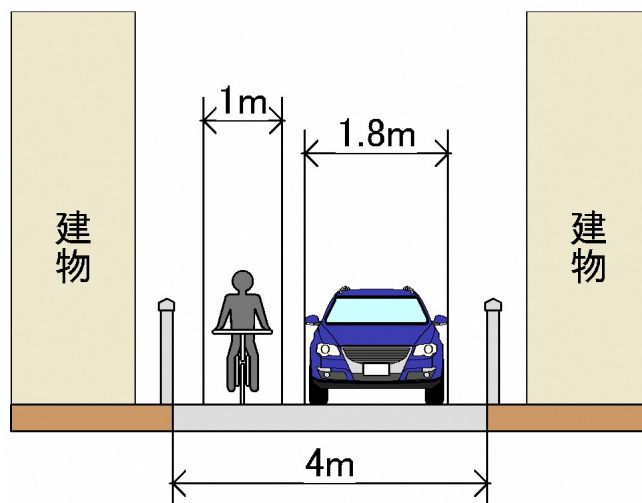


■幅員 6 m の場合

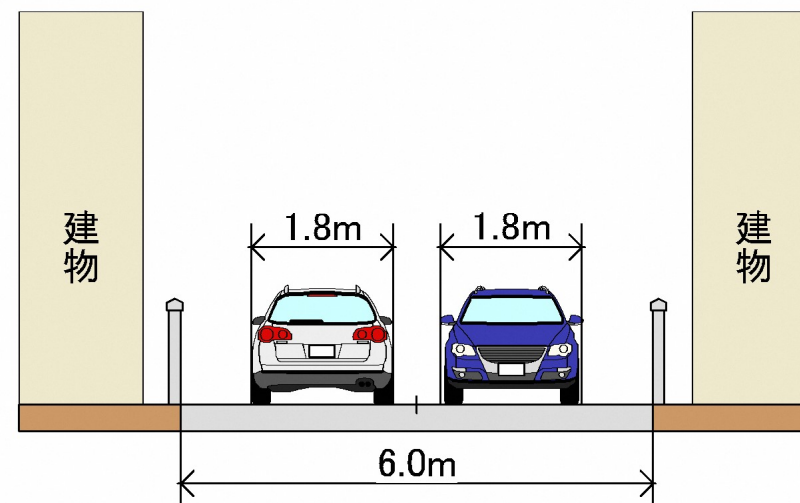


車のすれ違い

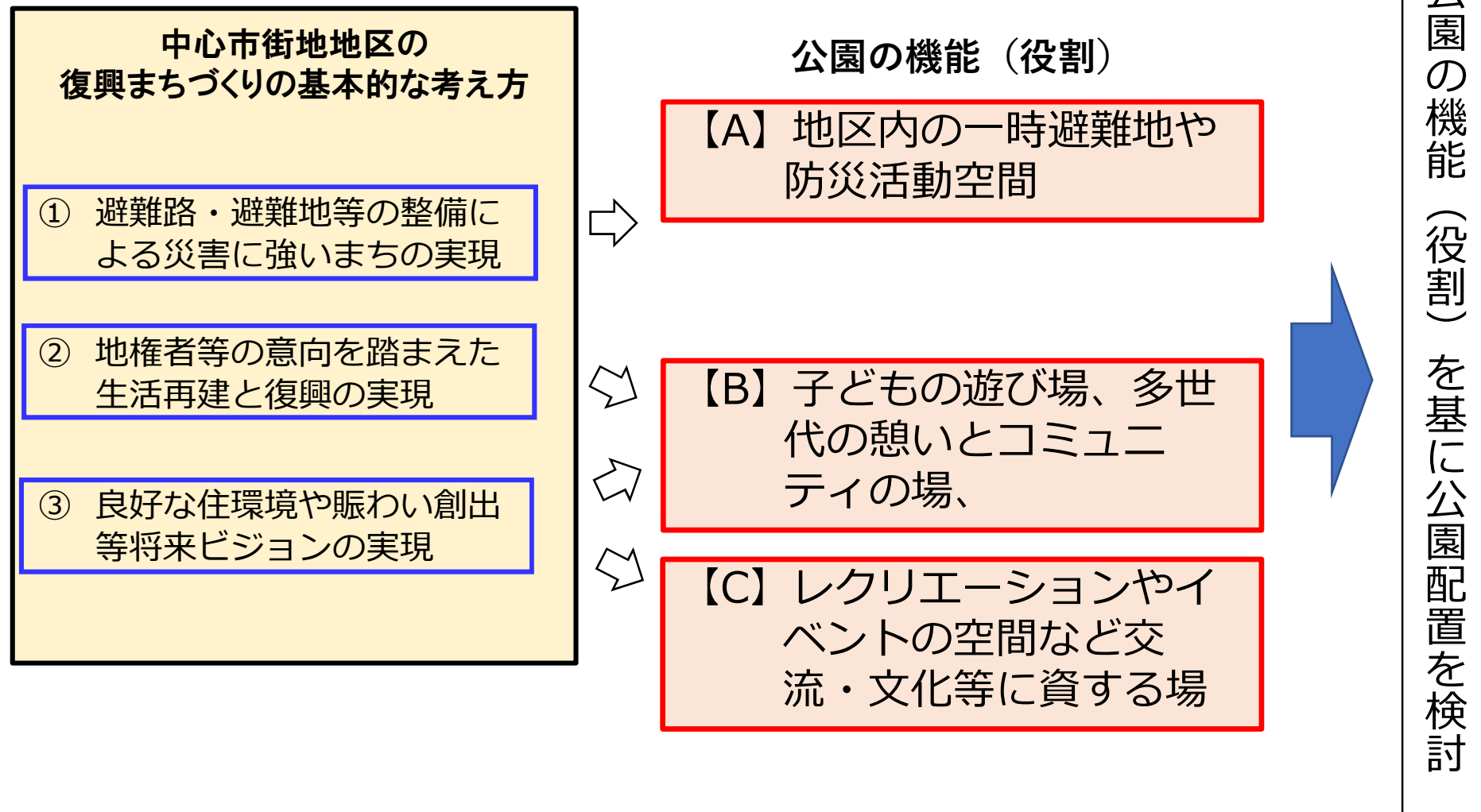
■幅員 4 m の場合



■幅員 6 m の場合



2-7-1 公園配置の考え方

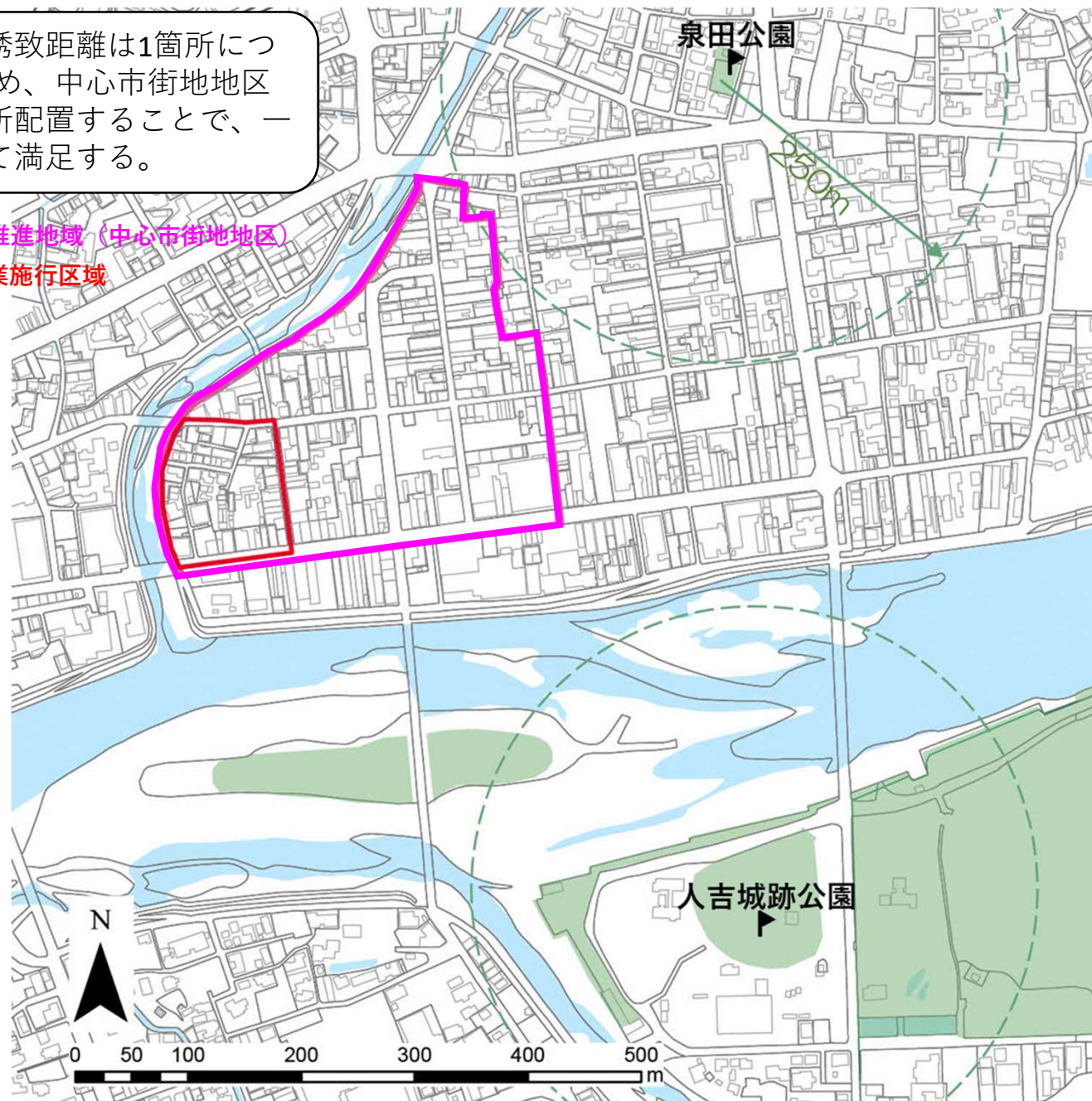


2-7-2 公園の誘致距離

16

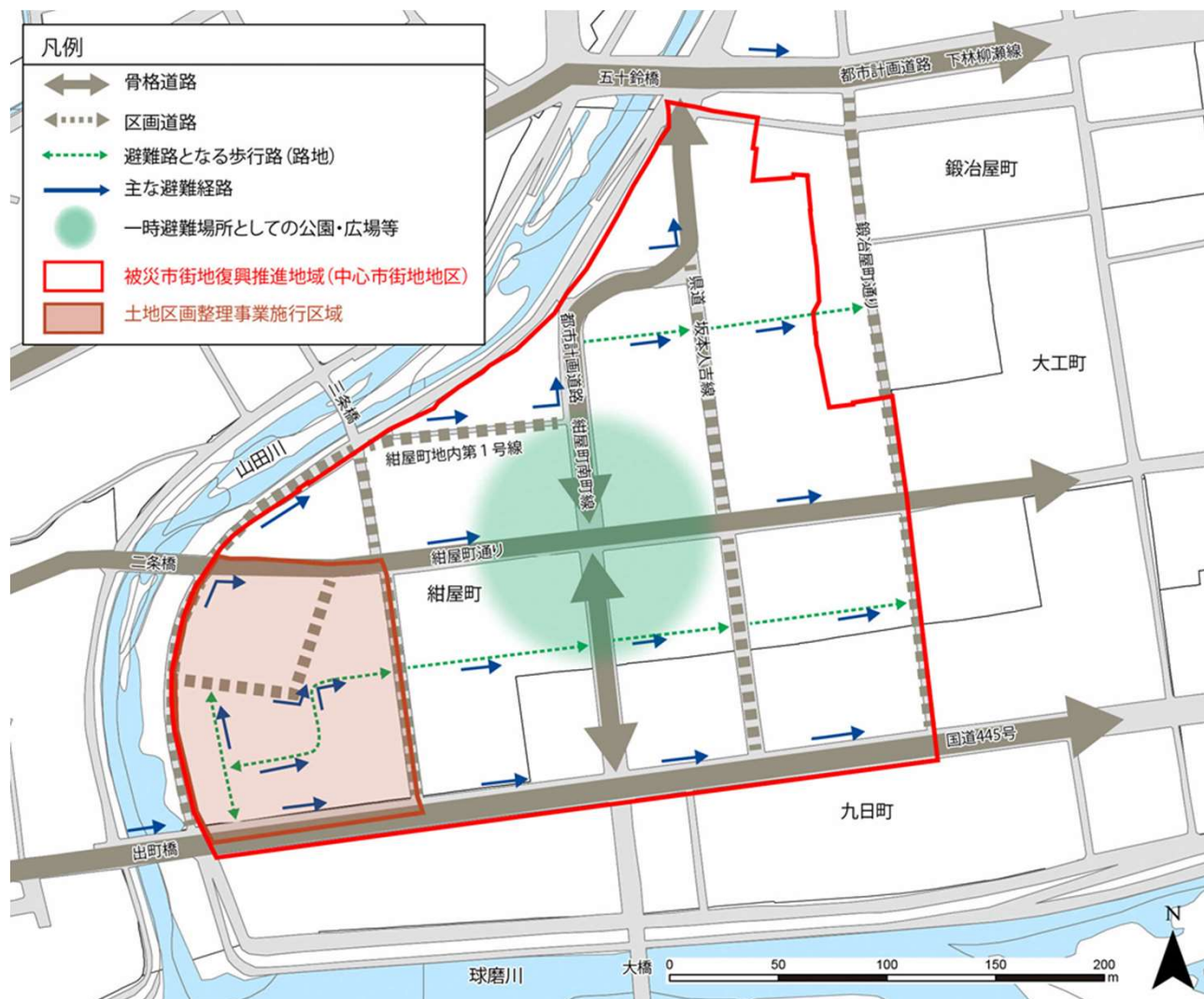
都市公園の最低誘致距離は1箇所につき半径250mのため、中心市街地地区では公園を1箇所配置することで、一時避難場所として満足する。

-  被災市街地復興推進地域（中心市街地地区）
-  土地区画整理事業施行区域



公園（一時避難地）

- 地区内の一時避難地や防災活動空間として整備
- 子どもの遊び場、多世代の憩いとコミュニティの場、レクリエーションやイベントの空間など交流・文化等に資する公園・広場として整備



- ・未接道敷地の解消
- ・（相対的に）低い敷地の地盤高調整
- ・堤防背後地との段差をなくし、土地の利活用を図り、にぎわいづくりの検討
- ・既存道路と河川管理道路の円滑な接続を検討

- ・河川堤防の強化（溢水時に崩壊しない対策として天端幅3m以上の確保）
- ・土砂撤去などの維持管理（高水敷への散策路設置）
- ・街並みや景観に配慮した石積み
- ・土砂堆積を軽減させるため横断形状を変更（堆積しにくくする）

- ・河川管理道路（市道認定する赤色部分）は、避難路や円滑な水防活動ができる空間の確保並びに建物の新築又は増改築が可能となるよう堤防幅6mで整備する
- ・河川管理道路並みに河川背後の低地盤範囲を嵩上げし、にぎわいづくりに繋がる一体的な土地活用の検討



【断面イメージ】

川へのアクセスを確保するまちづくりと一体となった整備

継続的に土砂撤去を行うための通路を整備
(平常時は散策も可能)

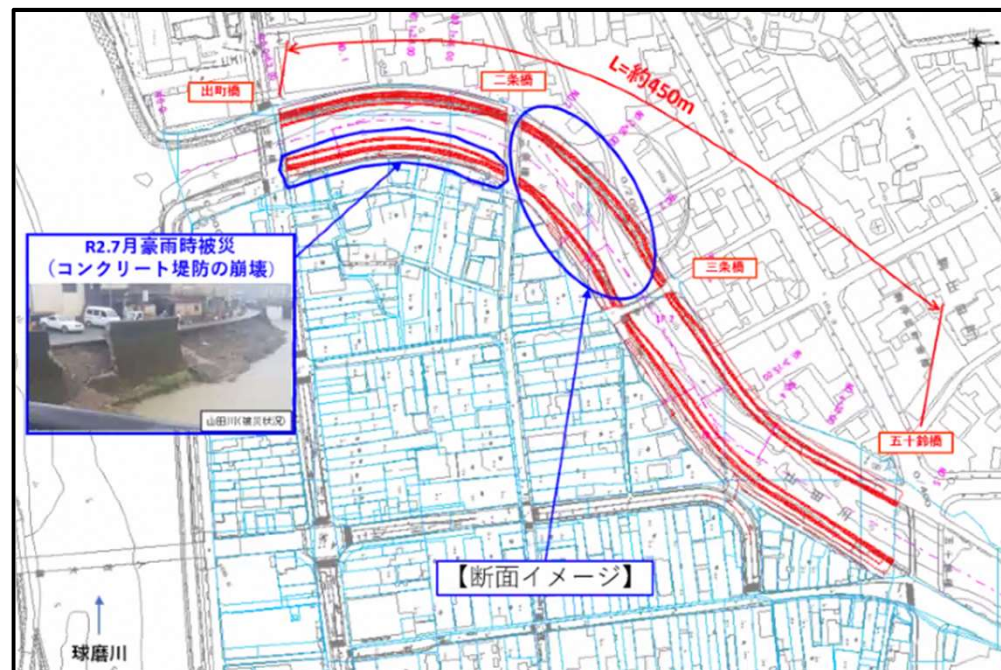
堤防の幅を確保し、構造を強化
避難路、水防活動の場として活用

街並み・景観に配慮した石積み

土砂堆積を軽減させるための横断形状の工夫

今後、調査・設計等により詳細が
変更になる可能性があります。

【検討区間（合流点～五十鈴橋）】



令和4年2月15日開催
まちづくり座談会
～山田川の今後の整備について～
資料より抜粋

回	活 動 内 容 (案)
第 1 回 (8月)	中心市街地地区全体の将来像、整備方針に基づいた道路・公園等の公共施設配置案、賑わい創出の説明、河川整備と一体となったまちづくりについて
第 2 回 (9月)	道路・公園・河川等（泉田川）の公共施設配置案の検討、（土地区画整理事業区域内の事業計画素案の作成）、中心市街地地区の歴史について（まちなみや賑わい）
第 3 回 (10月)	第 2 回委員会で検討した公共施設配置案の提示（泉田川・堤防道路の配置）、複合施設等の検討、（土地区画整理事業区域内の事業計画原案の作成）
第 4 回 (11月)	（区域外含む）公共施設案の検討、賑わい創出に向けた検討（導入施設など）、地区計画等（素案：まちづくりのルール等）の検討、将来像のラフスケッチ
第 5 回 (12月)	第 4 回委員会で検討した公共施設配置案、地区計画等（原案）の提示、導入施設等の検討

次回日程：令和 4 年9月下旬ごろを予定

協議内容：第 2 回の委員会では、「道路・公園・河川等（泉田川）の公共施設配置案の検討」、（土地区画整理事業区域内の事業計画素案の作成）、「中心市街地地区の歴史について」を行う会とさせていただきます。